京城新報

東京だより

◎現今歐州に於て八釜敷問題となりをるは、獨逸と佛蘭西との關係に有之候、獨佛兩國が現在の間柄となりしは申す迄もなく普佛戰爭の結果にして、敗れた佛國は、アルサス、ローレンスの二州を獨逸に割讓いたし候、今日獨逸帝國が旭日昇天の勢を以て日に隆盛と成りつゝあるを見て、佛國民は無念措く能はず、如何にもして彼二州を取り戻さんと、臥薪嘗膽の苦を積み居候、

◎歐洲に於ける風雲一度び、獨佛相戰候はゞ獨佛二國の血戰を見る事は明らかに候、而して此兩國間の戰爭が單に兩國にのみ止まることならば、別に騒ぎ立てする程各國に影響を及ぼすことなきも、いざ開戰となるや、關係は歐洲各國に及ぼすや、終に歐洲全土に禍を及ぼすこと免れ難き事に候、故に歐洲各國が平和を維持せんことに全力を傾注致しをるは自然の數に候。

◎而して、歐洲人が平和を希望するの念を増長せし其原因を討ぬれば、第一重税の負擔に候、元來今日の歐洲列國は殆んど軍備の擴張に熱中いたし居候、其結果重税の負擔は已むを得ざるものに候、彼等はこれが爲に六百萬の兵を養成し百億に上る負債を有し居候、然るに一方を顧れば商工業發達の結果一度戰亂の勃に際會せば、歐洲財政の基礎は忽ちにして蹂躙せらるゝ事は明々白々の事に候、之を以て人心次第に戰爭を怖れる樣に相成候、然り而して文明の進歩に伴ない、人々は漸次人生の快樂を享有すること、相成候、想ふに文明の特權は人生の快樂を何處迄も享有せしむるものに候、随つて社會的人類的快樂の爲は非社會的野蠻的の戰亂を厭忌するに至るは、文明そのものゝ然らしむる所に候、以上三大原因によりて、英、獨、墺等の列強國民は歐洲の平和を心から希望致候へば數十年來歐洲の平和提議も見ることゝ存候、最も平和提議の原因は全然無しとは申されず候、戰亂の漸減致し現はるべく、又之を數ふ十指を屈するも尚足らざるも前記三大原因の爲に平和を希望せる政治の權衡なる限りは歐洲に血の雨を降すが如き悲劇を出すことは萬々有之まじく候。

◎爰に至つて、我日本の東洋に於ける地位を顧みる必要有之候、元來日本は東洋の盟主にして、東洋諸國を代表し人類の幸福を増進するの一大使命を帶び居候、此大使命は大和民族の寤寐猶忘るゝことの出來ざるものに候、然るに歐洲の天地戰亂全く跡を絶ち、多年犬猿の間柄なりし英獨二國が握手するに至れば必ず東洋未開國の啓發に手を延ばし來ること明らかに候、随つて彼等軍備の精鋭は東洋に集中せらるゝ事も亦必然の事に候、而して彼等は此目的を遂する爲には干才に訴へてまでも貫徹せずんば已まざるべく候、其暁に日本人は如何に處すべきか、豫め今日より研究するの必要有之候、殊に我大和民族は東洋に於ける代表的民族として、政治教育宗教若しくは廣く人類の上より東洋諸國を指導し啓發するは、我陛下に對しての忠義に候、然るに何ぞ我國の現状は如何、斯の如き大天職大使命あるに拘はらず、徒らに鎖々たる蝸牛角上の小爭に汲々として世界の大勢の何たるかを知らず、當局者政治家共に偸安小康を貪ふに日も亦足らざるは、實に慨嘆の至りに不堪候、此際上下共に一致して、我帝國の大使命を全ふすることを覺悟すること大々必要と御座候　不一

●元山の人氣引立つ

元山にては本年より多年希望したる京元線も九月頃起工着手することゝなり尚赤田川改修工事八萬餘圓も支出さるゝこととなりたるため一般人心に活氣を出し昨今にては内地よりの渡來者も便船毎に増加しつゝありといふ

●長釜間寢臺交渉

今回鐵道院にては萬國寢臺車會社の申込に係る長春釜山間の寢臺車連絡契約に關し目下其關係鐵道間に交渉を開始し居る由なるが之に對する該會社の希望もあり其理由に付契約成立迄には多少の日數を要すならんと云ふ

●聯絡船櫻丸

義勇艦隊汽船櫻丸は二十七日前備入渠大阪商船會社より鐵道院に引繼しを以て爾今から下關釜山連絡船として航行すべし

●平壤の面長協議會

●各地産業工業

▲馬山　▲釜山　▲大邱　▲元山　▲安東縣

外事一束

▲米國　▲詳細　▲知事　▲禁止　▲訓電　▲各國

召使れ初　第三十八回　黒法師





東京電報（三十日）

▲日清米條約成立 日清並に日米新條約協定成立したり

▲條約樞府通過 今二十九日臨時樞密院會議を開き日清、日米新條約を附議し小村外務大臣より詳細なる經過其他の説明あり滿場一致を以て是認したり

▲米國太平洋防備 米國加州上院は太平洋艦隊擴張の議案を通過せしめたり該案の内容は現在の太平洋艦隊を擴張し戰艦十六隻を太平洋上に浮べ米國の威嚴を保たしむと云ふにあり

▲諸法律公布 帝國議會の協贊を經たる左の法律は三十日の官報を以て公布せられたり
法律第三十九號營業税法中改正法律、同第四十號煉乳原料砂糖戻税法中改正法律、同第四十一號印紙税法中改正法律、同第四十二號賣藥税法中改正法律

▲教科書改訂期 南北朝問題に關聯せし教科書修正は一兩日中に特別起草委員にて一部の調査を終り起草委員長に廻附さるゝ筈にて殘部は尚引續き調査中に屬す部會總會を經て全部の解決を見るは茲二ヶ月の後なるべし

雜報

●朝鮮銀行法公布 今期議會を通過したる朝鮮銀行法全文四十五箇條は二十九日の官報を以て公布されたり

●駐屯兵交代 羅南駐屯步兵第四聯隊の滿期歸休兵交代は三十日更代兵八百名平安丸にて淸津に上陸し羅南兵營に入りし後歸休兵八百名は四月一日平安丸にて淸津出發第二師團に歸隊すべく尚は咸興駐屯の第三十二聯隊歸休兵八百名も同船に乘船歸隊する旨其の筋に通報ありたり

●交代兵發着 龍山駐劄步兵第六十五聯隊の一行八百名は二十九日龍山發歸隊同交代兵は二十八日午前九時釜山上陸多分本日着龍の筈平壤守備隊交代軍は二十八日釜山發二十九日平壤着營と同時に歸休兵は内地へ向け出發すべし

半島關税瑣談

有賀關税課長談

▲通關取扱人淘汰 税關貨物取扱人に關する規定は嘗て總税務司時代に制定せるものあり現在は之に據りて特許を與へ彼等を取締り居れるが時勢の進展に伴ひ相當改正を爲さゞる可からざる必要を認め今回之を發布せるものとす殊に既設の久しき此種々の弊害醸出せるより此機を以て大々的淘汰を行はんと欲す然れば多少打撃を蒙ぶるものある可きも亦已むを得ざる結果たらずんばあらず而して該規則施行と共に現在從業者は悉く其權利を喪ひ更に發許を出願せざるべからず故に發布前之を告知し置けるも突差の際とて非常に狼狽を極め居るものあるが如し元來通關貨物取扱人は其責任頗る重大なるを以て嚴重に之を監督せざる可からざるに若し何等の資產を有せず一本のペン先のみにて之に從事するものあるが如き有樣なりとせば其弊害や測り知るべからず今内地現行の規則を見るに

▲身元保證金五千圓を徵し居れり然れども吾が朝鮮の經濟程度は未だ内地の如く一貨物數萬圓の巨額を算するものあるを見ず故に二千圓を最高限とせり此少額すら尚ほ納付し難き無資產家の如きは當然除却さるべし又該出願は税關長の管掌に屬し追て報告あるべき筈なり

▲上海航路に就て 南滿鐵道會社が大連上海間の聯絡航路を擴張して仁川に廻航せしむべしと聞けば實に機宜を得たる計劃なり朝鮮と上海との貿易關係は殊に重要の位置を占め彼我の輸出入額年に增進の傾向あるも直接航路なき爲め門司を經由して以て之に應ずるの現狀に在り斯の如きは彼我貿易上の一大缺陷たるを以て若し該航路の計劃事實に現出するを得ば實に朝鮮の慶幸たるを信じ雙手を擧げて之を歡迎せんと欲す

▲國境の税關設備 對淸貿易上の税關設備は新義州に鎭南浦税關の支署ありて上流は新義州まで下流は龍巖浦迄を其區域とせり而して鴨綠州以北の上流は沿江税と稱する名目の下に地方廳之を管理し内國税と同一に取扱ひ居れるが這は税關の規則にして決して宜しきを得たるものに非ず唯だ古來の慣行に依り斯く定め居れるが均しく國境貿易に屬する以上此規則は寧ろ改正せざるべからざるを認め當局者に於ても何等かの設備を爲すべく内意あるも而して該設備は必ずしも至難ならず寧ろ容易に實行し得べし又問題其者は國境の施設に屬し大に趣味あるを以て平安北道當局者の如き頗る熱心に之を唱道し居れり

▲半島の對外貿易 半島の貿易の現勢は内地間の移出入約八割を占むるを以て之を除外すれば眞正の對外貿易は言ふに足らざるなり若し他年内地間の關税を撤廢し内國貿易とするの時期到來せば現在の税關は其位置を失ふに至るべく憂ゆるものあるも予は決して斯く悲觀する能はず則ち其時期に到らば必ず一大發展を見んか又然らずんば半島は遂に立つ瀬を失ふべし

●商議聯合會と出席者 既報の如く當地に開催さるゝ日本及朝鮮の各商業會議所聯合大會に關し内地の各會議所にては出席者人員及提出議案に就きそれぞれ協議中なりしが出席員は一會議所より二名、有志者又は事務員三名以内と定め來四月二十一日一同下關に集合同日出發することゝなり又九州中國の商業會議所代表者は聯合會の終りし後鎭南浦平壤等を視察する筈なりといふ

●臨時防疫委員會 三十一日午後一時より總督府會議室に於て臨時防疫委員會を開かる

●慈惠院長會議終了 連日續行中の各道慈惠醫院長會議は愈々三十日を以て終了したるを以て三十一日は各任地に歸任すべし

●外國旅券規則改正 露淸兩國は朝鮮と接壤の地にあり殊に昨今無賴の鮮人の同地方に往復するもの少からず之等の取締上旅券規則を改正し淸國及露領サガレン沿海州並に黑龍江州にありては旅券願書に最近撮影に係る本人の寫眞（半身二葉）を添へしめ五月一日より實施することゝなれり

京城民會開期

▲豫算委員會 豫算委員會の戶別税等級割及び營業税及雜種税の部調査は三十日午前十時開會し全豫算案の部は同じく午後七時より開會右兩委員會とも卅一日正午迄には終了の筈なりと

▲本會議開設期 前記の如く委員會は三十一日の正午まで結了の見込なれば午後より直に本會議を開く都合なるが委員會に一週間餘を費したる事とて年度變の時日切迫の折柄本會議は一瀉千里の勢にて進行するならむと云ふ

●全國鑛床調査 農商工部鑛山課にては從來朝鮮の鑛山に關し周密なる調査なきを遺憾とし今回全國に亙りて鑛床を調査することゝなり川崎技師田村技手等主任となり多分四月中旬頃を以て發程すへしといふ

●小學校入學式 京城民團立各小學校は來四月五日午前十時より新學[illegible]同伴出校すべき旨三十日各父兄保護者に通知を發せり

●新入學兒童數 京城民團立各小學校新學期入學式は別項所報の通りなるが其入學兒童數に就ては最初確實なる者に於て四月三十日迄八百四十八名の入學申込あるべき豫定をなせしが現在昨日まで受付けたる數は七百十三名にて本日も續々申込者あり今後一ヶ月間には無論豫定數に達するならんと云ふ

●鴨江架橋竣成期 鴨綠江の架橋工事は明年三月が竣成期なるも工事非常に進捗し多分本年中には完成するなるべく橋脚は殆んど全部据付を終り目下安東縣及新義州の橋臺工事中なりといふ

●平壤の機械揚水計畫 平壤市街と一葦帶水の大同江を隔てたる所に廣濶たる約千町步の沃野あり地は大同江の河面を拔くこと約三十尺にして灌漑の便に富まざるも其土壤は純然たる沖積土にして地味最も膏腴なるを以て在來附近農民の粟、黍、高粱等の收穫高亦相當の額に達し居り先年宮内省の藤波主馬頭巡視の際此地をば御料場に指定せし程なるが去る三十八年平壤の百瀨廣之助氏之れに通水灌漑の途を開きて水田たらしむべく着眼し元平壤鑛業所理事佐瀨熊鐵氏と共同し其一部の設計調査を元平壤水道事務所兩角技師に委託するなど種々計畫中にてありしが今回愈々其實行の機熟し工學博士川上晉太郎氏及び前記佐瀨百瀨兩氏他に有力なる人々加入し一の組合として六万圓を出資なし三箇年繼續を以て蒸氣機關を利用し揚水をなし水田經營に當る事となりしと因に川上博士近々平壤に赴き詳細なる設計をなす筈なりといふ

●平南道の鹽田 其筋の調査によれば平安南道に於ける在來の鹽田は一府六郡に跨り總面積四百二十四町五反步、鹽井數二千二百九十四、釜數二百五十八にして其の生產額一萬三百六十二斤に達せるが今その各府郡別を示せば左の如し
鎭南浦（面積一〇四、釜數七、生產額三八五）龍岡郡（面積二一一、釜數一二、生產額一、三七七）甑山郡（面積二、一一〇、釜數七六、生產額二、七九六）永柔郡（面積七三一、釜數四三、生產額二、三二〇）順安郡（面積一[illegible]、釜數八、生產額一三四）肅川郡（面積八九三、釜數四三、生產額七七四）安州郡（面積一〇五、釜數六、生產額二〇五）

●安州の有煙炭 平壤松井民次郎なる人は先般安州附近に於て有煙炭礦を發見し安州炭坑と命名し二[illegible]中の筋へ[illegible]せしに去る二十二日を以て許可を得たるを以て本月中旬より發掘に着手すべき豫定の由なるが同炭坑は淸川江の左岸老江鎭と約二十丁の距離にありて水運の便あれば今後の發掘に好都合なるべく目下の炭層は三尺層五尺層及び六尺層の三あり炭質は撫順炭に彷彿たるものにして分析の結果炭素含量百分の七、熱量六千五百カロリーを得たりとの事なり

●寶塩業大計 廣梁灣一千町步の鹽田工事は本年を以て全部竣功の豫定なるが同地製鹽の販賣を一手に引受けんとて東京の井上角五郎氏外十餘名の富豪發起となり百萬圓の大會社を組織し目下總督府に許可出願中なるが右許可となれば本社を鎭南浦に置き廣梁灣に發運所を設け精鹽工場を設置し又廣梁灣と鎭南浦間に電氣鐵道を敷設し交通運轉の便をも圖る筈なりといふ

▲人さま〲▼（十九）

遠山熙君

君は茨城縣水戶市の產、帝大の法學士で朝鮮商業銀行の支配人だ。君學業を了るや其手始めに勤めたのが川崎銀行であつた、川崎銀行の次が馬關の第百十銀行、年季を重ねてドウかコウか一人前の銀行屋になつた。四十一年天一銀行に整理の必要あり、君聘せられ任を同行支配人に受け、爾來拮据黽勉增資を行ひ、行名を改め、出張所を增設し、支拂停止で有名なりし天一をばドウにかコウにか世間並の銀行に作り上げた。君生來多く飮まず、而かも三四杯を傾け耳熱するときは詩を賦し、文を草す、五六七杯佳境に入れば谷公谷公さ呼んで腕を扼す、谷公とは天下の横綱常陸山谷右衛門の事で、君と谷公とは曾つて水戶中學同窓、其時代に於ては君の膂力は良く谷公を投げたのであつた。

●貯水溜池設備調査 朝鮮の農事改良施設中灌漑の便を講ずることは重要の事なるを以て農商工部にては四十四年度より古來より存して目下破壞不用に屬するものを修理し又は新設の必要ある個所を撰み水利を十分に調査なしたる上貯水溜池を新設する方針なりといふ

●東洋協會分校卒業 當地の東洋協會專門學校分校にては來る四月二日午前十時第四回卒業式擧行同會朝鮮支部長石塚氏より朝野紳士に案內狀を發せり其擧式の次第は第一鈴生徒入場第二鈴職員入場第三鈴來賓入場、學事報告、證書授與、賞品授與、支部長訓辭、來賓祝辭、學生答辭終つて別室に於て立食の饗應ある筈なりと

●法學校卒業生採用 總督府法學校卒業生三十餘名は何れも今回總督府各局課及府縣に採用さるゝ事となり既に履歷書の詮衡を終へ本人の希望をも聽取した由なれば近々任命發表さるべしと云ふ

●松永師團長歸期 師團長會議列席の途次留守第二師團檢閲を行ひつゝある第二師團長松永正敏氏は岩井高級副官を隨へ來る四月三日仙臺發七日龍山着の旨其筋へ通報ありたり

●市川參謀長東上 近く東京に開かるへき各師團參謀長會議列席の爲め市川第二師團參謀長は三十日龍山發東上の途に就けり

●各部長の歸期 芝生田法官部長は法官部長會議に白石師團經理部長は經理部長會議に列席の爲め東上中なりしが何れも四月二三日頃歸任の筈

●小倉經理部長 東上中なりし小倉駐劄軍司令部經理部長は二十九日歸任したり

●郵便物證明開始 嚢に總督府官報を以て發布されたる郵便規則第五十八條の所謂內容證明郵便取扱は愈々來る四月一日より京城、西大門、南大門、光化門、龍山、仁川釜山、平壤、鎭南浦郵便局外主要地の郵便局三十七ヶ局に於て右取扱を開始する事となりたるが本則により取扱を受くべきものは第一種書留通常郵便物にして其の內容は文書なる事を要す而して該料金は一通謄本一枚のものは金十錢二枚以上のものは一枚を增す每に金四錢を加ふ同時に二個以上同文のものを差出すときは內一個を除き他は前記料金の半額なりと云ふ

●朝鮮鐵道運輸總會 朝鮮鐵道運輸聯合會にては來る四月十六日を期し仁川八坂にて第四回總會を開催する由なり

●加能越人會開催 當地在住加能越出身者は來る四月二日午後一時より寶六庵に於て鄉友懇親會を開催す

●大阪朝鮮米商況 頃日來期米の沸騰したるより久しく不勢の裡に沈睡せし朝鮮米界も頓に活氣立ち相場漸次引締り一時の安値より二十錢高を告げたりといふ

●朝鮮雜穀大阪商況 大豆は纏まりたる賣行を見ざるも小口ながら賣行は增加の方にて相場は持合なれども向後相當の手合せある上は多少の引締めあるべしと觀測せらる▲小豆は製餡筋の買手見送れるため更に取引なく不振の狀態なりと▲荏胡麻は在荷拂底なれども買氣落付き居りて捗々しき商談なし

●趙子出發延期 趙重應子は三十一日出發東上の筈なりしも都合により四月一日午前出發する事となれり

●樋口仁川助役の上京 仁川民團樋口助役は學事に關する打合せの爲三十日京城に赴き道廳及び學部を訪問せり

●市川信濟氏歸國 今回警視を辭任したる同氏は昨二十九日發歸國したり

●道廳の紀念植樹 來四月三日の祭日をトし全道に亘りて紀念植樹をなすとは既報の通りなるが京畿道廳にても當日午前十一時檜垣道長官始め廳員擧て六十餘名景福宮の後丘なる王山に到り豫定の地點に一人三株づゝ紀念植樹をなす筈なりと

●京城文庫の近況 京城文庫に現に所藏する書籍は唐本韓書千三百三十一冊、神書宗敎九冊、哲學敎育五十四冊、文學語學百十二冊、政治法律經濟、財政社會統計に關する書三百九冊、數學醫學理學三十六冊、工業兵事美術諸藝に關する書三百八十四冊、叢書隨筆紀行四千三百六十冊合計六千七百六十一冊にして昨年中に貸出閲覽したる數は四千三百六十冊其人員七千百九十五人なりしといふ

●自衞組合の新組織 平安北道邑城地方に於ては嚢に自衞組合を組織し江岸警戒上に多大の便を與へたりしが今回義州府にて威化面に三ヶ所州內面に三ヶ所水鎭面に二個所の自衞組合を組織し監視員として七十六名を出し憲兵の指揮を受け江岸監視に從事せんことを義州分隊に申出でたるを以て分隊にては適宜監視哨に配置したりと云ふ又た龍岩浦警察署管內にては北城新城及び見一洞の三洞は自衞組合を組織し一洞民十戶を一組と爲し交番に沿岸を監視し支那戎克等の寄港せんとするものあるときは直に附近監視哨に通報するの規定を設けたりと

●三警視の任命 朝鮮總督府警部葛城最太郎同對馬郁之進同安藤友熊の三氏は二十七日附を以て警視に昇任したり

●敍任辭令（廿四日付）

檢事正六位勳六等　赤井定繼
任朝鮮總督府檢事（四等）
判事從七位　津川彌三郎
任朝鮮總督府判事（七等）
同　上　山口均四郎
技師　野田忠藏
臨時現金前渡を受くる官吏を命ず

公人私人

△安達健三郎氏（熊本技師）釜山へ
△村上佐太郎氏（陸軍二等軍醫）釜山へ
△村井靜夫氏（水原慈惠病院長）水原へ

▲京龍兩驛の貨客▼

●南大門驛乘降客　廿九日の分
乘車客　八三八　下車客　八三三
乘車賃金　一、八六八、四六
●南大門驛荷扱高　廿九日の分
發送　三五噸　到着　二八二噸
貨物賃金　五五三、七三
▲龍山驛乘降客　廿九日の分
乘車客　二六二　下車客　二六四
乘車賃金　四七九、二二
▲龍山驛荷扱高　廿九日の分
發送　一〇八噸　到着　一一噸
貨物賃金　七〇二、九九

▲仁川港の出入船舶▼

▲山東丸　三十一日神戶より入港
▲安東丸　同　大連より入港
▲福羽丸　同　大阪より入港
▲九州丸　同　安東縣へ向出港
▲安東丸　同　大連へ向出港
▲湊城丸　同　大阪へ向出港
▲福羽丸　同　安東縣へ向出港

▲京城手形交換高▼

三月三十日　金高　一八〇、二一二、八三　枚數　四四七

▲治外法權▼ 東京の政況は議會の閉會と共に無事になつた、併し無事になつたのは內政だけの事で外交は相變らず相應に波瀾だ▲過日報道した如く例のルーズベルトが加州大學の講演會に於て太平洋問題を論じた、其所論は彼れの平常に似ず、極めて煽動的で亦た警告的であつた、玆に於てか加州の凡民騷がざらんと欲するも得んやだ▲加州の排日に對抗して起つたものが太平洋協會であるのだ、太平洋協會は其名こそ穩れ、日露戰爭前に於ける對露同志會の樣なものだ、嗚呼不吉、不吉、日米の關係は何せコンナになつたか▲ペルリ、ハルリス、グランド、何れも我國に好情を有した、我國民は彼等三人者を恩人と信じた、而して事實は恩人に相違ないのであつた▲三人者中のハルリス、下田在任中書を將軍家に上つて曰く、日本は世界に於ける武勇の國に候併し武勇のみにては御國は立ち不申候、金銀澤山御貯可然候▲武勇の國、金銀不足の國、ハルリスが見たときも五十年後の今日も殘念ながら同じ事だ、十數億圓の外債を脊負つて東郷、乃木の武勇を誇りつつあるのが我の現狀であるのだ▲半島の開發、滿洲の開發、之等に因つて軍費の取戾しをすると我爲政者は日露戰役後に於て宣言したのであつた、今や事實は反す、帝國はドコドコ迄もヤツパリ武勇の國だ▲總督府のアカラズ屋がトウトウ我を折つて恩賜公債の認可を始めた、恩賜公債の認可、并は當然の事だ、一利を起すよりは一害を除けとは良く言つたものだ▲漢城外國語學校では國語日本語を外國語科中に入れてあるソウだ、日本語の外國語視、飛んでもない大間違だ、田中校長は差置き、總督閣下の御意見が聞きたいものだ。

▲大阪期米 [illegible]

제663호 1911. 3. 31.



太平町から南山町

生温い心地悪い烈しい風の吹きしきる二十九日の午後七時、長谷川守備隊の營門前へ差し蒐かると突然衛兵が**捧げ銃**をするハテと不審かる間もなく從卒を随れて**尉官**殿？が出て來られる、出來招びの招き猫と云ふ恰好でチョイと失敬をして行く、軍司令官舎の衛兵も捧銃注目の禮をする、ト尉官殿相變ず**ホントに失敬**な眞似をして行く、之れを見た僕は不快を感じた、兵士に正式な禮を要求するものがアノ容態は何んだ、兵卒は將校より下級には相違ないが奴隷ではないのだ**陛下の國家に忠良**なる國民の尊い犠牲だ、夫れに依つて衣食する日傭取りではないのだ、上長と雖も常に此の心を以て此れに臨まねば恐るべき一種の**不平を馴致**せぬとも限らぬ、愼まれたいナアと思ひつゝ曲つた**紅葉小路**の入口で制服着けた**査公が酌婦**らしき女と肩を並べて語り交はして來るのに徐と出會つた、白粉着けた女の横顔が黄昏時の鈍色の中へ朦然と浮いて見へる、オヤッと思ふ間もなく大漢門の方へ折れる。今度出來た何んとやら云ふ料理店の二階が賑かだ、小兒を脊負つた朝鮮老婦人がスルトと辷つたかと思ふと整然と座つた、流石に**女だ**、え゛る刹那にも**タシナミ**を忘れぬ、男なら何うぞ無暇なことだらう。**明治町**に入る砂塵濛々として正面には怒風烈しうして小砂入に阻入する、浪花舘の前に立つ三三の人が吹いて居る、日韓印刷會社の前を右へ折れると右の家からも左の家からも飯時なので、盛んに**種々の匂**を嗅がする、牛に葱、照焼、干物、甘い匂ひ辛い匂ひ入り亂れて鼻を襲ふ、千山洋紙店の少々手前の所で一番烈しい。**漢城病院**の前の所で二十七八の丸髷の**婦人、湯戻り薄化粧**で一層美しくなられたのが片手に例の命盥に七ツ道具を入れたを持ち片手に何にやら抱へて御座る**れ湯文字**でもあるべきご安心して擦れ違ふ途端ギャン／＼と消魂しくものゝ咆ゆる聲す、吃驚して振り向く僕の鼻の尖―彼の婦人の**肩の上**へ前脚踏ん張つて又**ギヤンギヤン**と云何者なるか化性のものなら生擒與れんと眸を定めて見てあれば、クシャ／＼面の**チンコロ**。

南山町へ入る**夫婦すし**の帽子戸越しに一つ二錢の木標を横目で睨んで**松葉、初音**の二階を見上げる、初音の方は賑かに女中を指圖して居る如な**妻君**の明瞭な**江戸辯**を聞き流して入船の方面へ僕も姿を消す。（ぼく）

●李王殿下記念植樹

四月三日神武天皇祭をトし朝鮮に於ける植樹奬勵の紀念日となし全道各地の官公衙學校等各々植樹をなすこと既記の如くなるが同日は特に李王殿下にも親しく植樹さるゝ由にて其場所は多分倭城臺なるべく山縣政務總監以下總督府官吏等も同時に植樹すべしといふ

●滑稽提灯火事

二十九日夜本町三丁目**三越呉服店**に出火ありたりとの報に接したる警官憲兵はスワこそと駈け着け見しに當の三越呉服店員は一向平氣何うしたと詮索し結果二階の應接室に吊したる提灯が燃え落ちた其の火が窓に映りたるを通行人が認めて火事だ／＼と叫びたるものと解つて大笑にて濟んだが濟まぬは斯くと聞き傳へた諸方から見舞の人引きも斷らぬに柄澤君イヤドウモ是れは／＼と大閉口

●徴兵受検者の注意

朝鮮居住内地人の徴兵検査は、愈々來る**四月一日より五日間**各所轄聯隊に於て毎日午前六時より施行すべく其の第一日より四日までは普通壯丁者の身體検査を行ひ最後に一年志願兵の學術試驗を行ふ譯なるが今一般受検者に於て注意すべき事項を聞くに左の如し

一、徴兵身體検査呼出令狀及本人の寫眞（最近のもの）携行する事
一、食を携行する事但金錢及時計等の貴重品は可成検査場には携行せざる事
一、身體を清潔にし不潔ならざる衣服を着用する事
一、[illegible]きに付與しある許可證を携行する事

●惡周旋屋の處刑

岐阜縣人當時明治町一丁目四番戸周旋業櫻井事櫻井小七（三二）の竊盜犯並に横領詐欺取財事件に佐賀縣人當時本町一丁目裏通り六番戸周旋業宮原増太郎（四〇）が共謀したりとて何れも起訴せられ公判開廷せられし事は既報の如くなるが櫻井の犯罪中詐欺横領七部分は無罪となり其他の犯罪に付懲役六ヶ月に處せられ宮原増太郎は無罪の宣告あり

●又々鮮人の棄兒

一昨廿九日午後十一時頃仁川本洞三十八統二戸李興瑞方の裏手に赤兒の泣聲するより李は何事ならんと出で見ればこは如何に生後二四日を經過したる赤兒の遺棄しありしより一應拾上げ其筋へ届出でたるが李は子なきを知りし者にて貧困者の處爲ならんと目下犯人捜査中なりと

●無賃乗車の失敗

新潟縣人當時旭町一丁目二百二十八番戸小林波次郎は鐵道局請負業にて平壤開城間を無賃乗車し得る者なるが京城より歸らんとするに際無賃乗車を企て知人なる旭町一丁目下岡政治一（二七）に書狀を寄せ下岡をして出迎人入場券二枚を買ひ入場せしめ其の一葉を以て改札掛りを欺き汽車賃一圓四十七

●牛肉商の詐欺取財

熊本縣上益城郡瀧川村當時旭町一丁目牛肉商甲斐松造は鮮人沈潤植を欺罔し金二百七十餘圓を騙取し更らに南山町二丁目八十四番戸福田仙三郎より金二百圓を騙取したるより兩部署に告訴され目下取調中

●仁川港の難破船

三十日午前三時頃仁川小月尾島より大凡四百米突を離れたる東南の沖合に於て本町一丁目廣田組所有の團平船に繼遞管理局の石炭四五十噸を積載し龍山に向はんとせし途中轉覆せり乗組員板井松吉は辛うじて他の船に救はれ大月尾の無線信號ポールに至り一命を得たれ共同乗組員山口縣大島郡上庄村大和春吉（四三）は遂に行衛不明となりしより水上署よりは係官出張し八方捜査せしも同日午前十一時頃までは發見する能はずして捜索中

●齊多流謠曲會

四月三日午前十時より旭町女子技藝學校にて開會番組は△枕慈童（米田氏、立花氏）△翁政（原氏、道家氏）△玉葛（道家夫人、上田氏）△郷内（工藤夫人、ツレ秋田夫人、三宅夫人）△熊野（藤村氏ツレ末永氏、小林氏）△雲雀（高安流、來賓）△鞍馬天狗（田々地氏、子方田氏、鈴木氏）△海人（戸島氏、子方上田氏、伊藤氏）付祝言　仕舞、囃子、獨吟、

●拾得

去る廿六日龍山學町齋藤留吉は七十一錢在中皮製財布を拾得せし旨龍山署に屆出でしが落主は老松町廿五番地松岩熊と判明し熊より拾得者へ十五錢謝禮として贈りし由

●仁川區裁判所判決

廿九日仁川區裁判所に於て左記四名に對する判決ありたり懲役五年吉川由太郎、懲役七箇月趙銀九、懲役七年趙敬弼、懲役六箇月李相雲

●判決二件

大藪彦平、増野宇三郎の二名は賭博罪に因り各懲役三箇月に▲伊藤一郎は詐欺取財にて懲役八箇月に處せらる

●第一敷島樓の開業

仁川遊廓第一敷島樓は四月一日より開業する由

●雲右衛門の開演

浪界の明星桃中軒雲右衛門は既報の如く三十一日を以て當地に乘込み翌四月一日午後六時より旭町歌舞伎座に於て初日開演すべしと云ふ其の讀み物は義烈百傑「孝子正宗の傳」長講三席なりと



桃中軒雲右衛門

●鬼神か魔人か

頭も巨大なる梵鐘を撞ち鳴らし、明晃々たる白刃を梯子にして之れを踏んで登り、赤手釜中の熱湯を探り炎々たる火中を渡り炭火を掌中に弄する等凡百危險事をなして毫も其の身は傷かずと云ふ**妙不可思議**天狗蓑仙片田源七は今度當地**壽座**に於て**四月一日**より三日間其の妙を大方の觀覽に供すると云ふ此の妙は既に一昨年東京本郷座に於て科學者、新聞記者、宗教家、哲學者の面前に公演して種も仕掛けもないことの極めを附けられた正札附きで其の一場は有段の劍士をも習伏せしめる、**劍術試合**飛入希望の方は彼れの**歡迎**する所である何人と雖ども辭退せんと云ふにある一圓、七十錢、五十錢、三十錢と云ふ觀覽料だ、

●壽座

立志劇三十一日の藝題は前一「勝武刀」六歌功「義劇野晒し」三場配役は勝の兄山本武夫、老旦那梅太郎、（稻葉）高利貸田中、つんぼ與八（上）庭田文彦　大工八五郎　花島女中絹枝女、乞食ため（竇井）庭田家三太夫、太田（村山）召使れ勝世藍ひさよい（藤喜）庭田家祿守民江（郡）遊香岡（阿部）文彦妻文七（淺井）醫師小早川、幇間幸八（北村）

今日の運勢

●三月三十一日舊三月二日七赤庚子赤日滅納△一白新事大事に不可離じて障害多し他は進んで吉△二黒家族家庭の事に累あり誘引推奬に陷り易し他にも部事△三碧交際業務上破れ易し金錢貸借取引不動産の事効果あらず移轉旅行婚談起業開店凶△四緑共同婚談組合中裁の事効無し親族間の不和を戒しむ旅行移轉婚談起業開店凶△五黄貸借保證受印委托の事に忌む其他平靜業務又は交際上衝突ある日なり△七赤分業分離分家中裁の事に好し△六白秘密證定其他口舌の難に遭ひ易し旅行婚談移轉起業開店金談凶△八白多く出費多き日なり業務上平靜の日なり△九紫紛錯故障起り易し酒色の害を戒しむ旅行轉住起業開店婚談金談凶